

取扱説明書

保証書付き
保証書は裏表紙に付いています。

日立電気掃除機

型式 シーバイ ブイビー

CV-VP50

かるパック

日立 紙パック式クリーナー



このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用、屋内用です。業務用や掃除以外の目的、および屋外ではご使用にならないでください。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、大切に保存してください。

「安全上のご注意」→ (P.4、5) をお読みいただき、正しくご使用ください。

日立純正(CV-型用)パックフィルターのご購入

商品をお買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または日立の家電品オンラインストアでお買い求めください。

※読み取れない場合

<https://store.kadenfan.hitachi.co.jp/store/c/c201511/>



日立
オンライン
ストアは
こちら

日立家電メンバーズクラブの My家電への製品登録をおすすめします。

ご登録いただきますと、以下のさまざまなサービスがご利用いただけます。

※読み取れない場合 <https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>

- 家電品の登録・管理
- お役立ち情報
- パーツショップ送料特典
- お知らせ



登録は
こちら

■ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

■「使いかた動画」のホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

詳しくは、日立家電メンバーズクラブのホームページをご覧ください。

HITACHI

もくじ

ご使用前に

各部のなまえと組み立てかた	2
安全上のご注意	4
使用上のお願い	5

使いかた

操作部と表示部	6
運転スイッチ	6
本体のランプ	6
運転のしかた	7
お掃除のしかた	8
エアーヘッド	8

お掃除が終わったら

あとかたづけ	9
電源コードの巻き取りかた	9
収納のしかた	9
ごみの捨てかた	10
パックフィルターの取り出しかた	10
パックフィルターの取り付けかた	11
お手入れのしかた	12
本体・標準付属品・付属応用部品のお手入れ	12
水洗いできる部品	12
フィルターのお手入れ	12
エアーヘッドのお手入れ	13

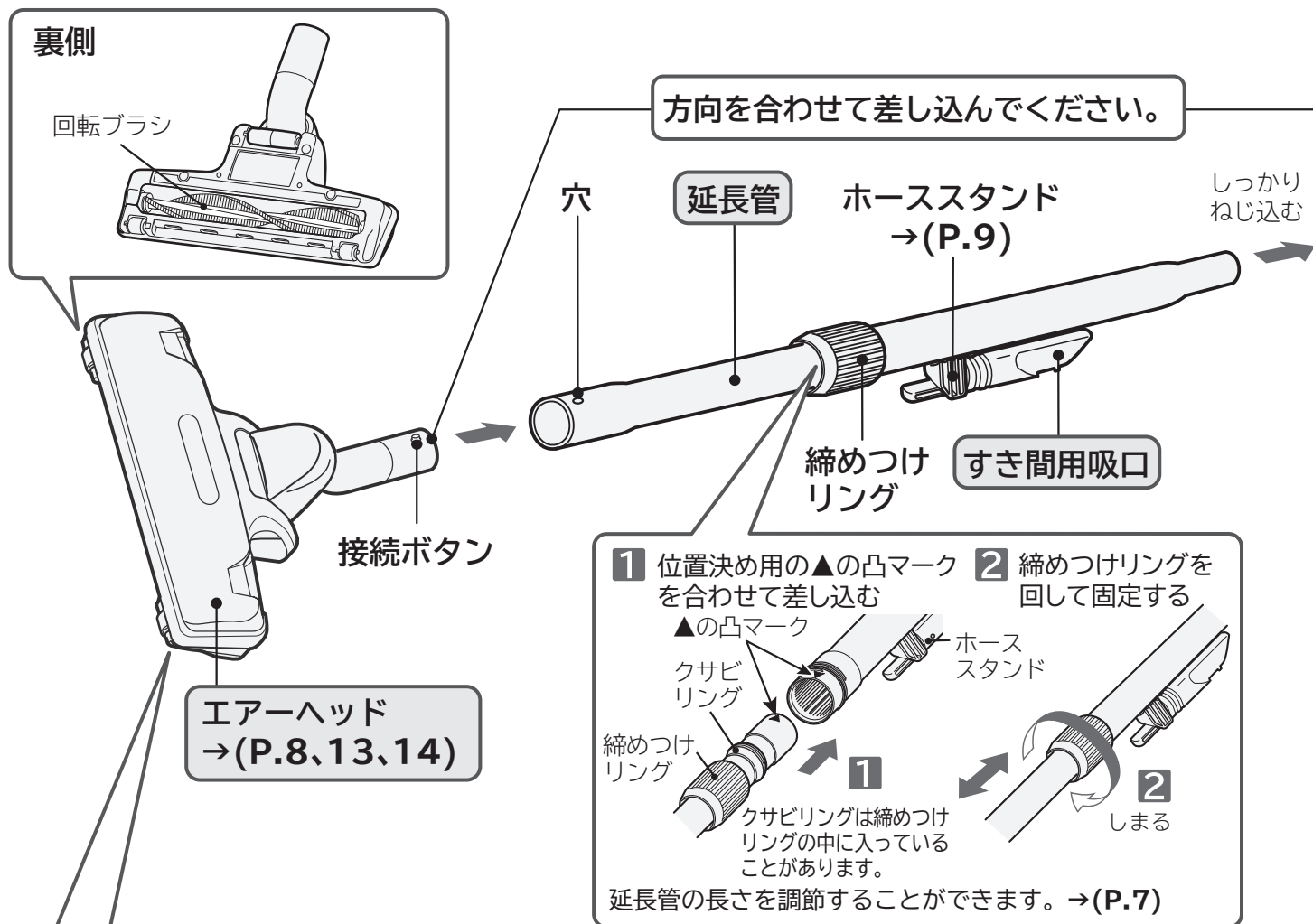
お困りのとき・仕様・その他

お困りのとき	15
保証とアフターサービス	18
別売り部品	19
仕様	19



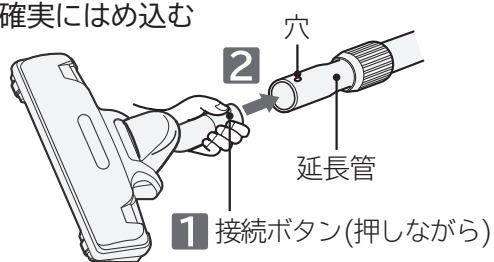
AA0002980-A

各部のなまえと組み立てかた



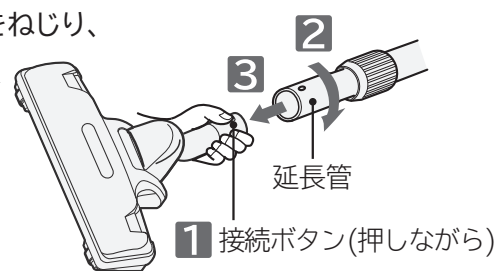
■取り付けかた

- 1 接続ボタンを押しながら、
- 2 穴に確実にはめ込む



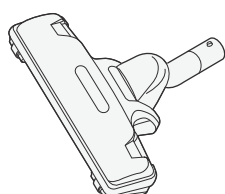
■取り外しかた

- 1 接続ボタンを押しながら、
- 2 延長管をねじり、
- 3 引き抜く

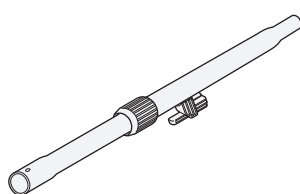


標準付属品

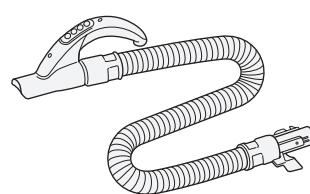
エアヘッド (1個)
(D-TM51)

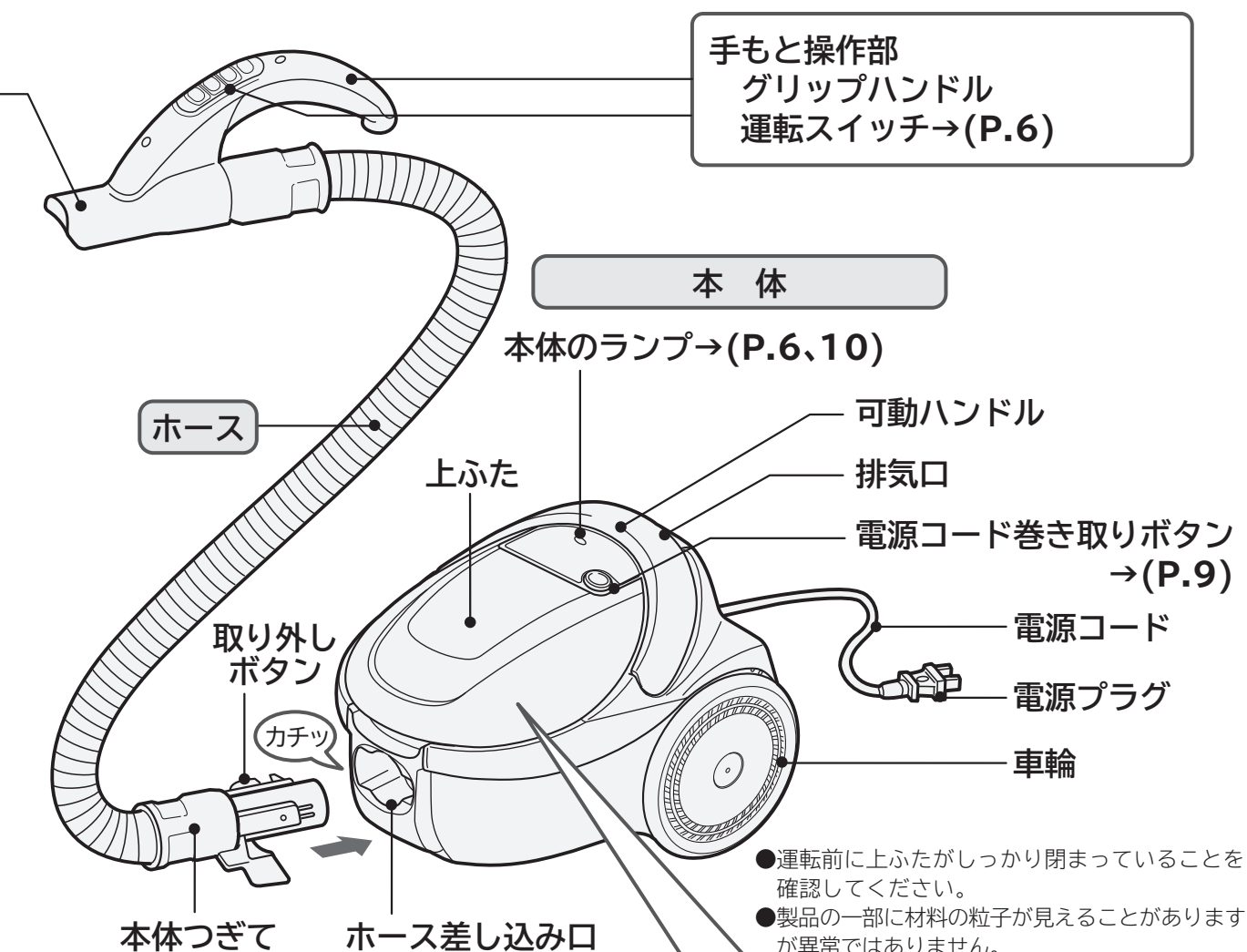


延長管 (1本)
(ガイド付き伸縮パイプ)



ホース (1本)

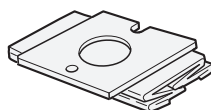




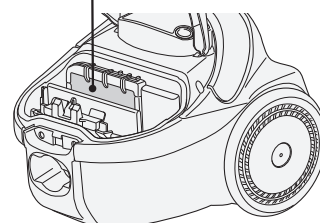
- パックフィルターを交換する際は、日立純正(CV-型用)パックフィルターをお買い求めください。
→(P.19)
- フィルター(抗菌加工)の取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
→(P.18)

パックフィルター
(GP-75F)(1枚)
→(P.10、11、19)

(本体に取り付けられています)



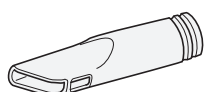
フィルター
(抗菌加工)



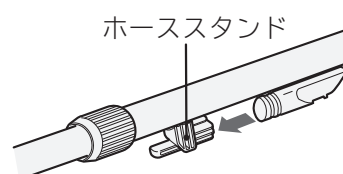
付属応用部品

すき間用吸口 (1個)

延長管または手もと操作部に
ねじ込んでご使用ください。



ホーススタンドに差し込んで
収納します。



標準付属品と付属応用部品は同梱されていますが、個別にお買い求めいただくこともできます。
お買い上げの販売店にご相談ください。→ (P.19)

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明



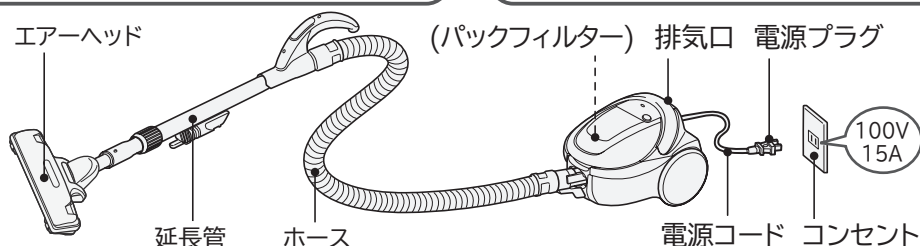
「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



必ず実行していただく「指示」内容のものです。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



- ・スイッチを押しても、運転しない
- ・運転中、時々止まる
- ・電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・運転中、異常な音がする
- ・本体が変形したり、異常に熱い
- ・ホースが破れている
- ・こげくさい“におい”がする
- ・その他の異常がある

発煙・発火・感電のおそれがあります。

すぐに「切」ボタンを押し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

コンセント・電源プラグ・電源コード



- 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- ごみ捨てやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
- 電源プラグに付着したほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る

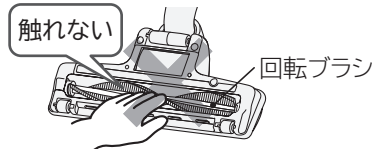


- 電源コードを傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・束ね・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない〕
- 傷んだ電源コード・電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
- 電源コードを回転ブラシに巻き込まない
- ぬれた手で抜き差ししない
火災・感電の原因となります。

エアーヘッド(吸込口)



回転ブラシには触れない
けがの原因となります。
特にお子さまにはご注意ください。



その他



- 引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで使用しない、吸わせない〔灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、鉄粉、洗剤、多量の小麦粉、可燃性ガス(スプレー)、たばこの吸い殻など〕
- 先端が尖ったものを吸わせない(ピン、針、つまようじ、ヘアピン、ガラスなど)
- じゅうたん洗浄剤などの泡状のものを吸わせない
- 改造はしない。分解したり修理をしない
- 屋外で使用しない
- 水洗いをしたり風呂場で使用しない(水洗いできる部品は除く)
爆発・火災・感電・けがの原因となります。

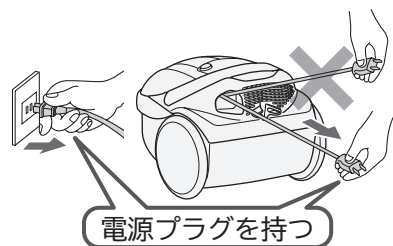


⚠ 注意

コンセント・電源プラグ・電源コード



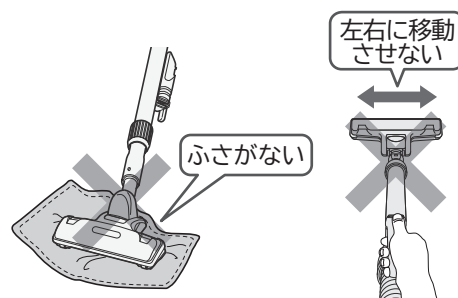
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
- 電源コードを無理に引っ張らないように本体を移動する
無意識のうちに引っ張ってしまうことがあります。
電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電・発火することがあります。
- 電源コードを巻き取るときは電源プラグを持ち、最後まで巻き取る
電源プラグが当たってけがをすることがあります。
運転終了直後は、電源プラグの刃先が熱くなることがあり、やけどのおそれがあります。
電源コードが最後まで巻き取られていないと、電源プラグで床面を傷つけたり、けがをすることがあります。
- 電源コードは、本体後方へまっすぐ水平に引き出す
本体上方や横方向に引き出すと、本体とのこすれにより電源コードが破損して感電・発火の原因となります。



エアーヘッド(吸込口)



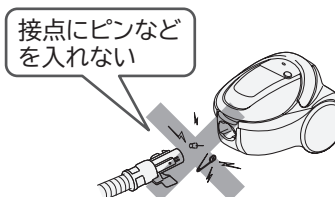
- 運転中に延長管の長さを調節しない
誤って吸込口をふさいでしまうと、延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。
- 運転中に吸込口をふさがない
ホースが急に縮んで、本体が転倒したり当たってけがをすることがあります。また、長時間ふさぐと過熱による本体の変形・発火の原因となります。
- エアーヘッドが前方を向いている状態で左右に移動させない
- 砂・小石などの異物が付着したまま使用しない
床面に傷を付けることがあります。



ホース・延長管



- ホース差し込み口の接点にピンなどを入れない
ショート(短絡)して感電・故障・発火の原因となります。
- ホースや延長管の先端で掃除をしない
床面を傷つけることがあります。



排気口



- 排気口をふさがない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
- 排気口や電源コード出口から出る風を長時間体に当てない
低温やけどをすることがあります。



パックフィルター



- パックフィルターは日立純正(CV-型用)パックフィルターを使用する
日立純正品以外の紙パックを使用した場合、モーターの発煙・発火の原因となります。

その他



- 火気に近づけない
本体の変形によりショート(短絡)して感電・発火の原因となります。
排気により炎が大きくなり、火災の原因となります。

使用上のお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。

また、本文中の **お願い** 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

- 電源コードは赤印以上無理に引き出さない
断線の原因となります。
- 本体、エアーヘッド、延長管、ホース、付属応用部品を強くぶつけない
変形・破損の原因となります。
- ホース・本体つぎてを持って本体をぶら下げない
ホースの破損の原因となります。
- 本体、エアーヘッド、延長管、ホース、付属応用部品に乗らない
破損の原因となります。
- 次のようなものは吸わせない
異臭や故障の原因となります。
・水や液体 ・湿ったもの ・吸湿剤(湿気取り)
・多量の砂や粉 ・長いひも ・ガラス
- 水洗いした部品は、陰干しにして十分に自然乾燥させる
異臭や故障の原因となります。

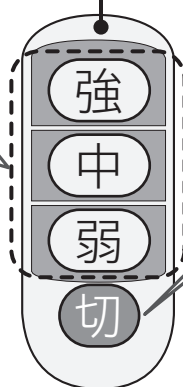
操作部と表示部

運転スイッチ

運転したいとき

- 強** じゅうたんなどの念入りなお掃除に強い吸込力でお掃除するモードです
- 中** 普通のお掃除に
- 弱** フローリング、畳などのお掃除に静かにお掃除したいときに

運転スイッチ



運転を止めたいとき

「切」ボタンを押します。

⚠ 注意

けがのおそれあり

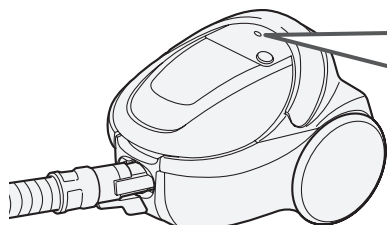
吸込口をふさいで、「強」「中」「弱」ボタンを押さないでください。
ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

本体のランプ

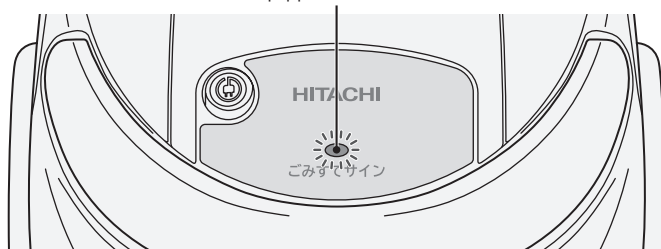
運転中に本体のランプが点滅(1秒間に約1回の点灯)した場合は、パックフィルターの交換のお知らせ(目安)サインです。パックフィルターを交換してください。→(P.10、11、19)

※「切」ボタンを押しても約10分間点滅します。

※早い点滅(1秒間に約2回点灯)のときは「切」ボタンを押してから電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。→(P.18)



本体のランプ



こんなときは

ごみがいっぱいでも本体のランプが点滅(1秒間に約1回の点灯)しない

綿ごみなどが多いとき

定期的にごみのたまり具合を確認し、パックフィルターを交換することをおすすめします。

ごみが少なくても本体のランプが点滅(1秒間に約1回の点灯)する

●細かい砂ごみ、土ぼこりなどを吸わせるとき
パックフィルターが目詰まりしています。新しいパックフィルターに交換してください。

→(P.10、11、19)

●ホース、延長管にごみが詰まったとき
ごみを取り除いてください。

●毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたときや、すき間用吸口などをご使用のとき
吸込風量が少なくなっています。吸込口を掃除面から離し、本体のランプが消灯すれば、そのままご使用いただけます。

消灯しないときは、「スイッチを押しても本体のランプの点滅が消えない」→(P.17)を確認してください。

パックフィルターの交換時期を正しく確認したいとき

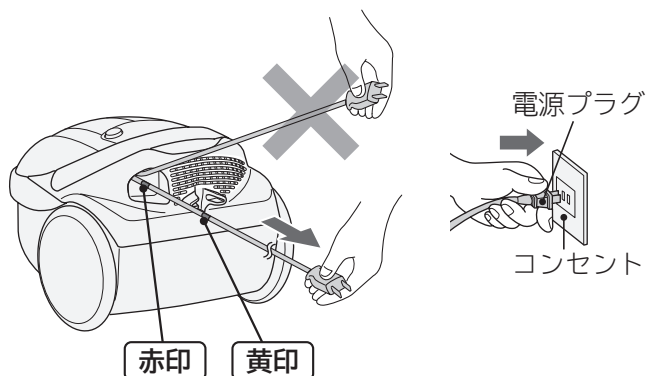
「中」「弱」運転で本体のランプが点滅(1秒間に約1回の点灯)したときは次に記載している方法を確認してください。

- 1** 運転スイッチを「強」運転にする
- 2** エアーヘッドを床面から浮かせる
- 3** 約5秒間待ち、本体のランプが点滅した場合は交換する→(P.10)

運転のしかた

1

電源コードを黄印まで引き出し、
電源プラグをコンセントに差し込む



- お願い**
- 電源コードは赤印以上引き出さないでください。断線の原因となります。
 - 電源コードは本体後方へまっすぐ水平に引き出してください。こすれて本体に傷がつき、破損の原因となります。

⚠ 警告

火災のおそれあり
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用にならないでください。

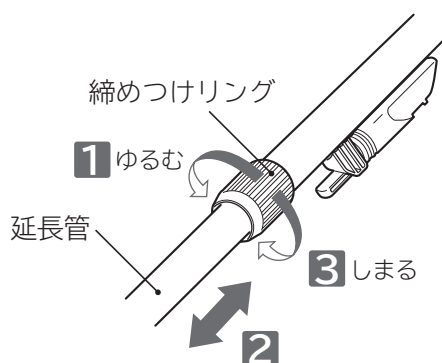
⚠ 注意

発火・感電のおそれあり
電源コードは本体後方へまっすぐ引き出す
本体とのこすれにより電源コードが破損して感電・発火の原因となります。

2

延長管の長さを調節する

- 1 締めつけリングを回してゆるめる
- 2 使いやすい長さに延長管を伸縮させる
- 3 締めつけリングを回して固定する

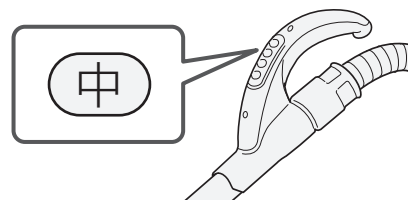


⚠ 注意

けがのおそれあり
延長管の長さを調節するときは、運転を停止させてください。誤って吸入口をふさいでしまうと、延長管が急に縮むことがあります。

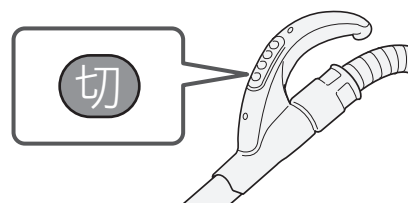
3

運転するときは (強) 、 (中) または (弱) を押す



4

止めたいときは (切) を押す



お掃除のしかた

エアーヘッド

エアーヘッドを前後に動かしたり、床面に合った操作のしかたで、上手にお掃除ができます。

じゅうたん

前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。
初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。

フローリング・畳

床面の傷つき防止のため、フローリングや畳の目にそって動かします。
エアーヘッドを手前に引いたとき、床面にほこりが残る場合は、エアーヘッドを一度持ち上げて、ほこりの手前側から吸い取ってください。

⚠ 注意

床面に傷を付けるおそれあり

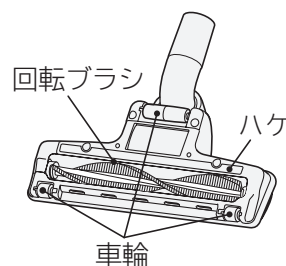
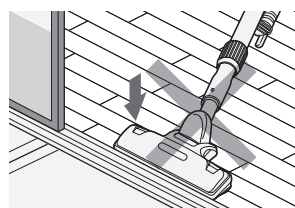
運転中はエアーヘッドを同じ位置に止めたままにしない

エアーヘッドを床面に強く押しつけない

- 特にひのきやクッションフロア※などの傷つきやすい床の場合、床面に傷や色を付けることがあります。
※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いたクッション性のある床材のことです。
- 敷居の段差などにエアーヘッドを強く押しつけてご使用になると、車輪などが摩耗したり、床面に傷を付けることがあります。
- 車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、摩耗と床傷つけの原因となります。

定期的なお手入れ(月1回程度)をしてください。→(P.13)

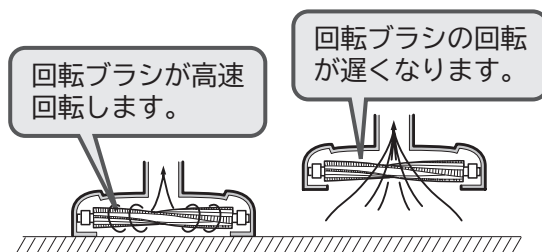
- 長期間のご使用などで、「ハケ、車輪、回転ブラシ」が摩耗することがあります。摩耗したままエアーヘッドをご使用になると、床面に傷を付けることがあります。「ハケ、車輪」は、お客様ご自身では交換できないため、お買い上げの販売店にご相談のうえ、持ち込み修理にて「ハケ、車輪、回転ブラシ」の同時交換をおすすめします。→(P.18)
「回転ブラシ」は別売り部品としてご購入のうえ交換いただけます。→(P.19)



毛足の長いじゅうたんなど床面の種類によっては、操作が重くなる場合があります。このようなときは、「弱」運転に切り替えるか、延長管の長さを調節し、グリップハンドルの高さを下げて操作してください。

■エアーヘッドの回転ブラシ

エアーヘッドを持ち上げると、回転ブラシの回転が遅くなります。(止まる場合もあります)



⚠ 警告

けがのおそれあり

運転中はエアーヘッドの回転ブラシに触れない

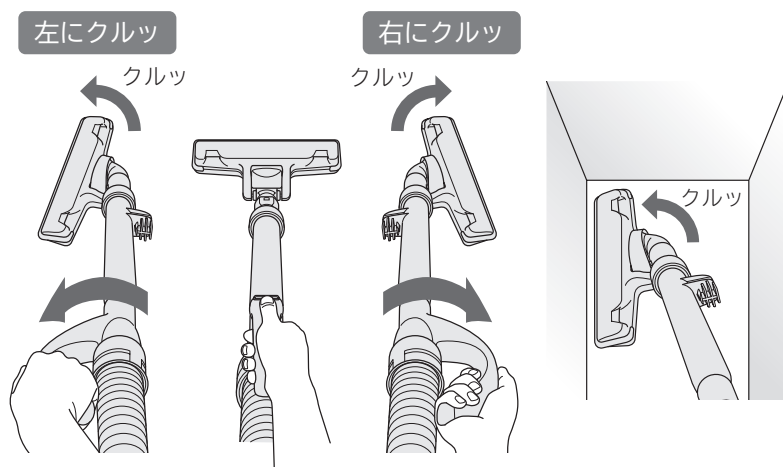
巻き込まれるおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

お願い

- じゅうたんの種類によっては、回転ブラシが回転しにくくなる場合があります。このようなときは、「強」運転に切り替えてください。
- 薄いカーペットなどが吸いついて、ごみが取れにくいときは、カーペットの隅を押さえ、吸いつかないようにしてお掃除してください。

■クルッとヘッド

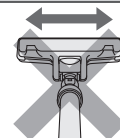
グリップハンドルをひねると、エアーヘッドの向きがクルッと変わり、すき間などの狭い場所もスムーズにお掃除できます。



⚠ 注意

床面に傷を付けるおそれあり

エアーヘッドが前方を向いている状態で左右に移動させないでください。



破損のおそれあり

- エアーヘッドを壁や角などに強くぶつけないでください。
- エアーヘッドが左右に向いている状態で、床面に強く押しつけないでください。

あとかたづけ

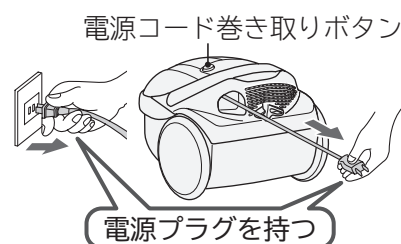
電源コードの巻き取りかた

電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのマーク部(Ⓜ)を押しながら、電源コードを巻き取ってください。

⚠ 注意

けがをする・家具・床に傷を付けるおそれあり

- 電源プラグを抜くとき・電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持ってください。
- 電源コードを最後まで巻き取ってください。



収納のしかた

⚠ 注意

けがのおそれあり

収納状態のまま持ち運んだり、床面に置くと、ホース・延長管やエアーヘッドが外れることがあります。

床面に傷を付けるおそれあり

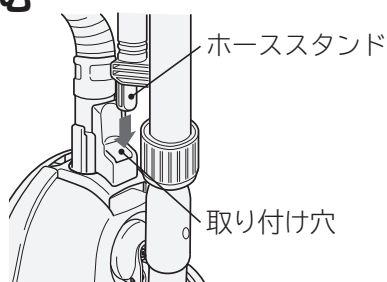
床の上を収納状態のまま移動させないでください。

お願い

- ストープの近くや直射日光が長時間当たるなど、高温になる場所での収納はしないでください。
ホースの変形や故障の原因となります。
- ホースがつぶれたり、折れ曲がるなど、変形するような状態での収納はしないでください。

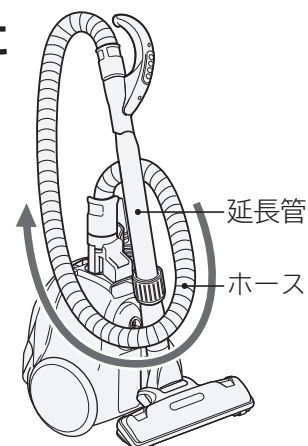
1

延長管を縮めて→(P.7)、
取り付け溝にホーススタンドを
差し込む



2

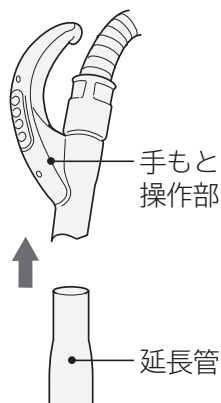
ホースを延長管に
巻きつける



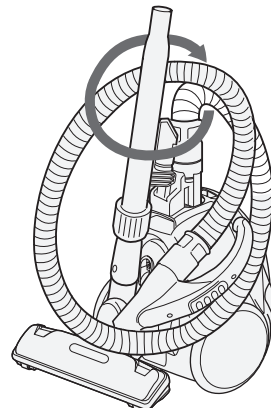
あとかたづけ(続き)

コンパクト収納

1 手もと操作部を延長管から外す



2 ホースを延長管に巻きつける



ごみの捨てかた

- 吸込力が弱くなったら、本体のランプが点滅(1秒間に約1回の点灯)していないかを確認してください。

点滅していたら、パックフィルターの交換のお知らせ(目安)です。→(P.6)

- 定期的にごみのたまり具合を確認してください。

ごみの種類によって、本体のランプが点滅(1秒間に約1回の点灯)しないことがあります。



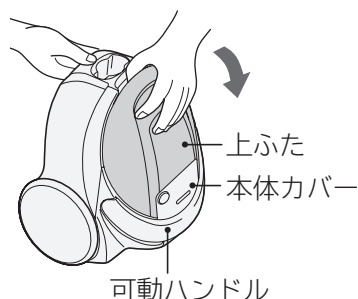
警告

感電・けがのおそれあり

ごみ捨ての際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

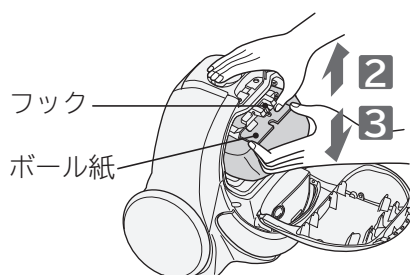
パックフィルターの取り出しかた

1 本体を立て、上ふたを開く

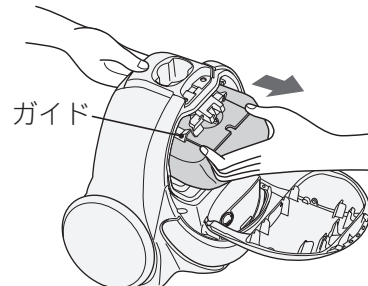


2 フック(青色)を図の矢印方向に持ち上げる

3 パックフィルターのボール紙をフックから取り外す



4 ボール紙を、ガイドの挿入溝から引き出しながら、パックフィルター全体を引き出し、捨てる



注意

けがのおそれあり

上ふたと本体カバーの間に手を置かないでください。
手をはさむおそれがあります。

お願い

ごみがこぼれた際は、ごみを取り除いてください。
モーター部にごみが入り込み、故障の原因となります。

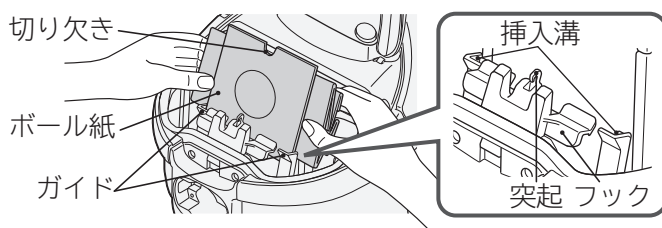
パックフィルターの取り付けかた

お買い上げ時に本体に取り付けられているパックフィルター(GP-75F)で説明しています。
パックフィルターを交換する際は、日立純正(CV-型用)パックフィルターをお買い求めください。→(P.19)

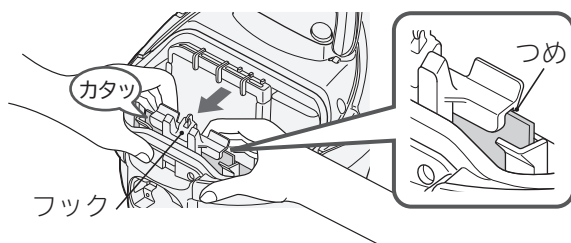
お願い 破れたパックフィルターや使用済みのパックフィルターは使用しないでください。
モーター部にゴミが入り込み、故障の原因となります。

1 ボール紙の切り欠きを上にして、ガイドの挿入溝にボール紙を確実に差し込む

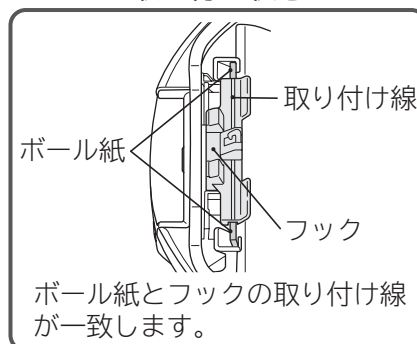
- パックフィルターは折りたたんだままの状態に取り付けます。
- フックの突起は、別売りのシールふた付きパックフィルター→(P.19)取り付け用です。
ご使用の場合は、シールふたに記載の説明に従い取り付けてください。



2 ボール紙の上部を、「カタッ」と音がするまで両手でフックのつめの内側まで押し込む



取り付け状態



3 上ふたを閉める

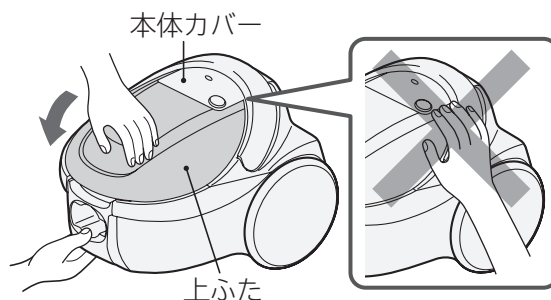
本体に手を添え、上ふたを閉めてください。



注意

床面に傷を付けるおそれあり
手を添えずに上ふたを強く押すと本体が傾き、床面に傷を付けることがあります。

けがのおそれあり
上ふたと本体カバーの間に手を置かないでください。
手をはさむおそれがあります。



お願い パックフィルターを取り付けていない、または正しく取り付けられていない状態で、上ふたを閉めようとしても閉まりません。
上ふたやフックが破損するおそれがありますので、無理に押さえないでください。

お手入れのしかた



警告

感電・けがのおそれあり

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

けがのおそれあり

ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤、漂白剤や化学ぞうきんなどを使用しないでください。破損の原因となります。

本体・標準付属品・付属応用部品のお手入れ

汚れが気になるときはお手入れしてください。水を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。



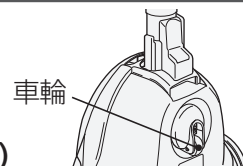
注意

床面に傷を付けるおそれあり

長期間のご使用などで、「本体裏面の車輪」が摩耗することがあります。

摩耗したままご使用になると、床面に傷を付けることがあります。

「本体裏面の車輪」は、お客様ご自身では交換できないため、お買い上げの販売店にご相談のうえ、持ち込み修理での交換をおすすめします。→(P.18)



水洗いできる部品

すき間用吸口 →(P.2、3)、フィルター(抗菌加工) →(P.12)、エアーヘッド →(P.14) は水洗いができます。それ以外の付属品・部品は水洗いできません。

水洗いしたときは、陰干しにして十分に自然乾燥させてください。

フィルター(抗菌加工)の乾燥には約12時間必要です。

(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

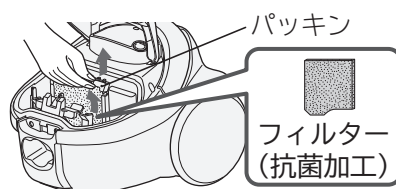
フィルター(抗菌加工)のお手入れ

パックフィルターを交換しても本体のランプが点滅(1秒間に約1回の点灯)したり、吸込力が回復しないとき、汚れが気になるときはフィルターをお手入れしてください。

フィルターをお手入れする前に、パックフィルターを取り出してください。→(P.10)

1

上ふたを開け、パッキンを持ち上げ、
フィルターを取り出す



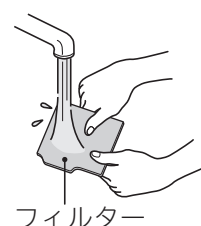
2

1 フィルターを水で軽く押し洗いする

2 たたいて水気を切り、陰干しにして十分に自然乾燥させる

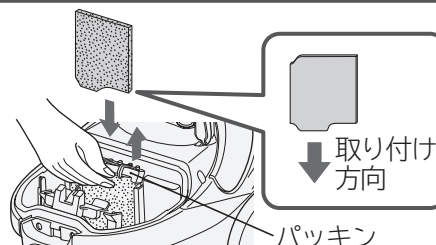
お願い

洗濯機で洗わないでください。また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や破損・変形の原因となります。フィルターの乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)



3

パッキンを持ち上げ、フィルターを
取り付ける
(フィルターの向きに注意する)



4

パッキンの突起を、元どおり
取り付け枠に差し込む



注意

発煙・発火のおそれあり

フィルターを取り付けて
運転してください。



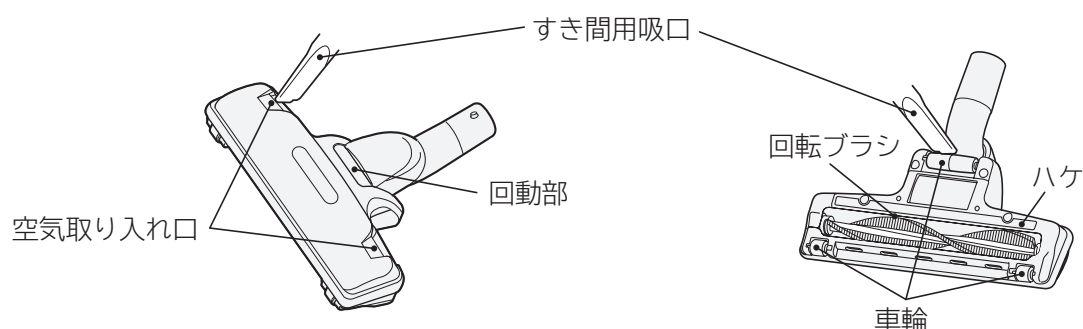
エアーヘッドのお手入れ

- 吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。
- 定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。
回転ブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口、回動部にゴミが付着していると、床面を傷つけたり、吸込力の低下や故障の原因となります。

お願い エアーヘッドは、延長管から取り外してお手入れしてください。

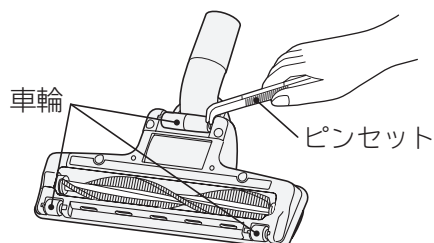
付着したゴミを取り除く

付着したゴミを、すき間用吸口を使って吸い取ってください。



絡みついたゴミを取り除く

絡みついたゴミを、ピンセットなどで取り除いてください。



⚠ 注意

床面に傷を付けるおそれあり

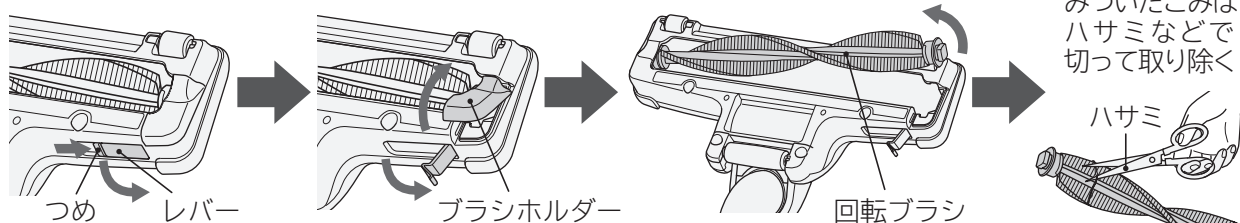
- 車輪にゴミが絡みつくと、車輪が回転できず、摩耗と床傷つけの原因となります。
- 長期間のご使用などで、「ハケ、車輪、回転ブラシ」が摩耗することがあります。
摩耗したままエアーヘッドをご使用になると、床面に傷を付けることがあります。
「ハケ、車輪」は、お客様ご自身では交換できないため、お買い上げの販売店にご相談のうえ、持ち込み修理にて「ハケ、車輪、回転ブラシ」の同時交換をおすすめします。→(P.18)
「回転ブラシ」は別売り部品としてご購入のうえ交換いただけます。→(P.19)

お手入れのしかた(続き)

エアークヘッドを水洗いする

1 回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く

- 1 エアークヘッドを裏返して、レバーのつまみを右に押しながら手前に開く
- 2 レバーが止まるまで開いたあと、ブラシホルダーを取り外す
- 3 回転ブラシを取り外す



2 エアークヘッド、ブラシホルダー、回転ブラシを水洗いし、水気を切る

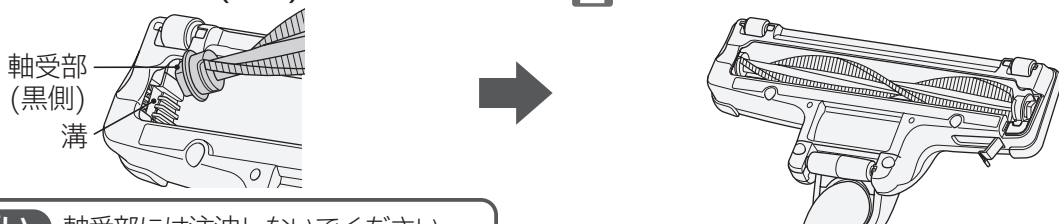
- 1 各部品を洗う
- 2 水抜き穴を下にし、エアークヘッドを振って水気を切る
- 3 乾いた布で水気をふき取る



お願い ●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤、漂白剤などは使用しないでください。また、毛のかたいブラシで洗わないでください。
●水気をふき取った後、陰干しにして、十分に自然乾燥させてください。ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因となります。

3 エアークヘッド、ブラシホルダー、回転ブラシが乾燥したことを確認し、回転ブラシを取り付ける

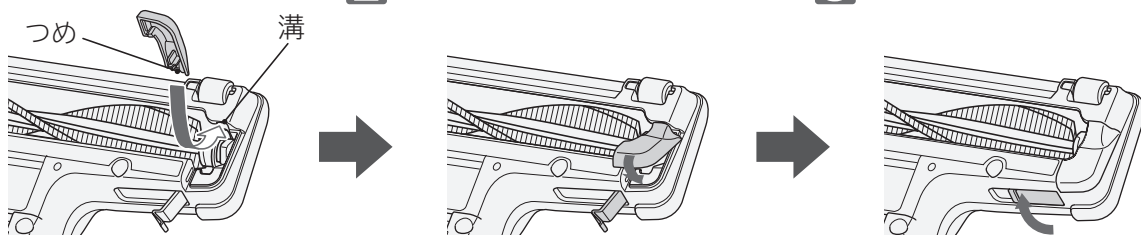
- 1 回転ブラシの軸受部(黒側)を溝に合わせる
- 2 元どおり取り付ける



お願い 軸受部には注油しないでください。

4 ブラシホルダーを取り付ける

- 1 つまみを溝に合わせる
- 2 ブラシホルダーを取り付ける
- 3 レバーを閉める



お願い ブラシホルダーを取り付ける際には、つまみを先に引っ掛けてください。破損の原因となります。

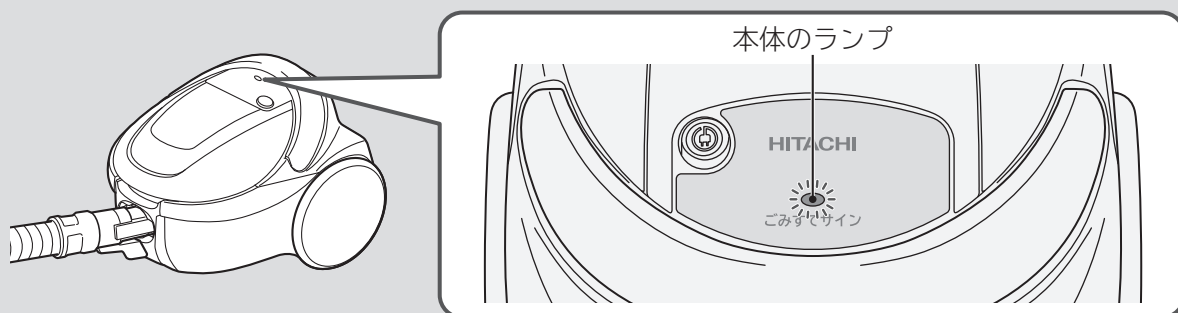
お困りのとき

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

「本体が運転しない、または運転中に止まる」「本体のランプが点滅(1秒間に約1回の点灯)している」場合は、モーターの過熱を防ぐために保護装置が作動している可能性があります。次の直しかたに従って、保護装置を解除してください。

本体が運転しない、または運転中に止まる



保護装置と原因

本体モーターの過熱を防ぐために、自動的に電力を抑える保護運転になることがあります。さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。

パックフィルターの目詰まり
フィルターのごみ詰まり

吸込口をふさいだままの運転

ホース・延長管のごみ詰まり

直しかた

「切」ボタンを押し、電源プラグをコンセントから抜く

パックフィルターの交換
フィルターのお手入れをする

→(P.10~12、19)

吸込口をふさいでいる
ものを取り除く

ホース・延長管に詰まった
ごみを取り除く

約5分後～60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。

お手入れのしかた

お困りのとき

お困りのとき(続き)

症状	確認するところ	直しかた	ページ
運転中に吸込力が弱くなる または本体のランプが点滅(1秒間に約1回)している	パックフィルターが目詰まりしていませんか。	新しいものと交換してください。	P.10 P.11 P.19
	フィルター(抗菌加工)にごみが付着していませんか。	フィルター(抗菌加工)のお手入れをしてください。	P.12
	延長管、ホース、本体つぎてにごみが詰まっていますか。ホースをまっすぐにして確認してください。	ごみを取り除いてください。	—
	エアーヘッドにごみが詰まっていますか。	ごみを取り除いてください。	P.13 P.14
	延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用になると、電源電圧の低下により、早期に本体のランプが点滅(1秒間に約1回の点灯)する場合があります。 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。		—
運転中に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する	●エアーヘッドを押しつけたり、吸込口をふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除していませんか。 ●すき間用吸口をカーテンなどに押しつけたり、吸込口をふさぐようにしてお掃除していませんか。	本体モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。 ●回復しにくい時は、一度「切」ボタンを押して、しばらくしてから再度運転してください。 ●回復後、エアーヘッドは力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。	—
	延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントを使用していませんか。	定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。	—
運転しない または運転中に止まる	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	しっかり差し込んでください。	P.7
	本体にホースが確実に差し込まれていますか。	「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。	P.2 P.3
	モーターの過熱を防ぐため、保護装置が作動した可能性があります。直しかたに従って、保護装置を解除してください。		P.15
	本体のランプが早い点滅(1秒間に約2回点灯)になっていませんか。	モーターの交換時期または故障の可能性があります。 「切」を押し、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご相談ください。	P.18
	吸込口をふさいでいませんか。	ふさいでいるものを取り除き、一度「切」ボタンを押して、しばらくしてから再度運転してください。	P.15

症状	確認するところ	直しかた	ページ
排気や本体があたたかくなる(特に夏場)	空気の流れて本体モーターを冷却しているため、異常ではありません。		—
エアーヘッドの回転 ブラシが回転しない または止まる、回転 しにくい	本体、ホース、延長管、エアーヘッド などがしっかり接続されていますか。	しっかりと接続してください。	P.2 P.3
	エアーヘッドが床面から浮いていま せんか。	床面から浮かせると回転ブラシの回 転が遅くなる構造になっています。 エアーヘッドを床面につけてくださ い。	P.8
	回転ブラシ、空気取り入れ口などに ごみなどが付着していませんか。	ごみを取り除いてください。	P.13 P.14
	空気の流れて回転ブラシが回転しているため、吸込力が弱くなると回転 ブラシが回転しない、または回転しにくくなります。 このようなときは、「運転中に吸込力が弱くなる」を確認してください。		P.16
スイッチを押しても 本体のランプの点滅 が消えない	「切」ボタンを押して運転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセ ントから抜いて、もう一度差し込んでください。 「バックフィルターの交換時期を正しく確認したいとき」で記載している方 法で本体のランプが点滅しなければそのままご使用ください。		P.6
電源コードが最後まで 入らない、または引き 出せない	電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれていることがあります。 電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを「巻き取る」「引き出す」 操作を数回繰り返してください。そのあと、黄印まで引き出してよじれを 直してから、もう一度巻き込んでください。		—
電源コード出口から 風が出る	本体モーターを冷却している風を出しているため、異常ではありません。		—
確認してもまだ異常がある場合		ご自分で修理をなさらないで、お買い 上げの販売店またはご相談窓口にご相 談ください。	P.18

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書

●この商品は保証書付きです。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。 ただし、フィルター、ブラシなどは消耗品ですので、 保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って、修理させていただきます。 [持込修理対象商品]
保証期間が過ぎ ているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により 有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは（持込修理）

「お困りのとき」→(P.15～17)に従って調べていただき、
なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜
いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 修理を依頼されるため、販売店にお持ちの際は、標準付属品
〔ホース、延長管、エアヘッド〕も一緒にお持ちく
ださい。

お知らせいただきたい内容

1. 型式：CV-VP50 2. 症状：できるだけ詳しく

補修用性能部品の保有期間

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り
後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持
するために必要な部品です。

部品について

- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用する
ことがあります。修理のために取り外した部品は、特段のお
申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
- 商品のデザイン、定格、仕様、補修用性能部品等は改良等
のため、予告なく一部変更することがあります。

この掃除機は家庭用です

- 一日のご使用時間が極端に長い場合や、共同(寮など)で
ご使用になる場合には、短期間で部品の交換(エアヘッド
やモーターなど)が必要になることがあります。お買い上
げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてご使用
になることをおすすめします。
- このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

転居されるとき

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交
換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの
販売店または、「ご相談窓口」(下記)にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検など の作業にかかる費用です。サービスエンジニア の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、 一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に 付帯する部材などを含む場合もあります。

愛情点検



長年ご使用の掃除機の点検を！

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したり
しなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- ホースが破れている
- こげくさい「におい」がする
- その他の異常がある

ご使用
中 止

事故防止のため、
すぐにスイッチを切
り、電源プラグを抜
いて、販売店へ点検・
修理を依頼してくだ
さい。

使いかた・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店、または「ご相談窓口」(下記)に
ご相談ください。日立家電品サポートページで「よくあるご質問」や「使いかた動画」など
各種情報をご覧いただけます。電話のほかLINE、チャットでのお問い合わせや、WEB
での修理受付ができますのでご利用ください。

※下方の内容は予告なく変更させていただく場合があります。
最新情報は、日立家電品サポートページをご確認ください。



日立家電 サポート 検索

商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口

TEL 0120-3121-11
携帯電話 050-3155-1111 (有料)
FAX 050-3135-2134 (有料)
(受付時間) 9:00～17:30(月～金)(土日祝日、年末年始は休業)

修理のご依頼や修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話 0570-0031-68 (有料)
FAX 0570-2006-57 (有料)
(受付時間) 9:00～18:00(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)

予期せぬ障害などでお電話が切れてしまった際、折り返し電話を差し上げられるよう、発信者番号の通知をお願いします。
「非通知」設定されているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報お取り扱いについて】

- 個人情報は当社の個人情報保護方針に則り適切に管理いたします。
- 当社の個人情報保護方針につきましては、<https://corp.hitachi-gls.co.jp/utility/privacy> をご覧ください。
※URLは変更する場合があります。日立の家電品ホームページにてご確認ください。
- 製品のサービスの提供、各種お問い合わせへの対応に利用させていただきます。また、アンケートをもとにした製品や
サービスを向上させるための分析に利用させていただく場合があります。

別売り部品

日立純正(CV-型用)パックフィルター



注意

発煙・発火のおそれあり

パックフィルターは、日立純正(CV-型用)パックフィルターをご使用ください。
日立純正品以外の紙パックを使用した場合、モーターの発煙・発火の原因となります。
また、その場合、紙パックに関する掃除機の性能・品質は保証できません。

- お買い上げ時に本体に取り付けられているパックフィルターは、GP-75F(抗菌防臭3層クリーンパックフィルター)です。
- 日立純正(CV-型用)パックフィルターが使用できます。
- パックフィルターのご購入は、商品をお買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または日立の家電品オンラインストアでお買い求めください。

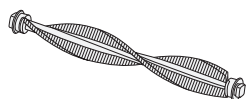
パックフィルター

詳しくはこちら

GP-2000FS
GP-130FS
GP-110F
GP-75F

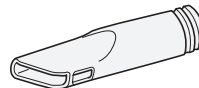


回転ブラシ



サービスパーツ CV-VP5-003

すき間用吸口



サービスパーツ CV-SG9-029

部品のご購入は

詳しくはこちら

部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または下記の「パーツショップ」へご依頼ください。

日立の家電消耗品・部品直販インターネット販売「パーツショップ」

<https://store.kadenfan.hitachi.co.jp/store/c/c7013/>



仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

型 式	CV-VP50	質 量	3.8kg(標準付属品を含む)
電 源	100V 50-60Hz共用	本 体 寸 法	長さ288mm×幅256mm×高さ214mm
消 費 電 力	840W ~ 約300W	標 準 付 属 品	ホース.....1本
吸 込 仕 事 率	340W ~ 約80W		エアヘッド.....1個
運 転 音	65dB ~ 約55dB		延長管.....1本
集 じん 容 積	1.5L	付 属 応 用 部 品	すき間用吸口.....1個
コードの長さ	5m		

抗菌効果	型式	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称	試験結果(抗菌活性値)	試験成績書発行番号	試験報告書発行日
	パックフィルター GP-75F	一般財団法人 ボークン品質 評価機構	JIS L 1902 に基づく	繊維に 練り込み	パックフィルター 内層紙	2.0以上	20221054185-1	2022年3月29日
	フィルター				不織布		20215054031-1	2015年11月20日

※抗菌活性値が2.0以上で抗菌効果があるとされています。

日立電気掃除機 保証書

持込修理

この保証書は取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、本書に記載されている内容に基づき、無料修理をお約束するものです。無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示ください。

型 式	CV-VP50		※お買い上げ日	保 証 期 間（お買い上げ日から）
			年 月 日	本体：1年（ただし、消耗品は除く）
※お 客 様	ご 住 所			
	お 名 前	様		
	電 話	()		
※販 売 店	ご 住 所			
	お 名 前	様		
	電 話	()		

※印欄に記入のない場合は無効となります。

記入のない場合、レシートまたはご購入を証明するものが代用となりますので、本保証書とともに大切に保管してください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
 - (ハ)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
- (ニ)一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。
- (ホ)業務用に使用されて生じた故障および損傷。
- (ヘ)本書のご提示がない場合。
- (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- この商品は持込修理の対象商品です。郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはご相談窓口→(P.18)にご相談ください。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口→(P.18)にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 消耗品、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、「保証とアフターサービス」→(P.18)をご覧ください。

修理メモ

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

H5(HTS)